

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公表番号】特表2016-509059(P2016-509059A)
 【公表日】平成28年3月24日(2016.3.24)
 【年通号数】公開・登録公報2016-018
 【出願番号】特願2015-558954(P2015-558954)
 【国際特許分類】

A 6 1 K	31/661	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/28	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/661	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 K	9/28	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	43/00	1 0 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それを必要とする対象において、密接結合（タイトジャンクション）の恒常性（tight junction integrity）を増加させるための、有効量のグリセロリン酸を含む組成物であって、前記対象は、日常的に運動を行っている、または運動を行

うべきである、組成物。

【請求項 2】

前記グリセロリン酸塩がグリセロリン酸カルシウムである、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

前記組成物が、

(i) 前記治療上有効量のグリセロリン酸塩を含有している核；および、

(i i) 前記核を覆っている腸溶性被覆剤、

を含んでいる腸溶性被覆剤を施された組成物である、請求項 1 または 2 の組成物。

【請求項 4】

前記組成物の前記核および前記腸溶性被覆剤のうちの少なくとも 1 つが、遅延放出剤をさらに含む、請求項 3 の組成物。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、運動に付随する、または運動によって誘発される、筋骨格 (musculoskeletal) 痛を軽減するために、運動に先立ち、その間、または直後に、対象に、非ステロイド系抗炎症薬が投与される、組成物。

【請求項 6】

非ステロイド性抗炎症薬をさらに含む、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の組成物

。

【請求項 7】

前記核が非ステロイド性抗炎症薬をさらに含む、請求項 3 または 4 の組成物。

【請求項 8】

前記非ステロイド性抗炎症薬がイブプロフェンである、請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

それを必要とする対象において、セリアック病を治療するための、有効量のグリセロリン酸を含む組成物。

【請求項 10】

前記グリセロリン酸塩がグリセロリン酸カルシウムである、請求項 9 の組成物。

【請求項 11】

前記組成物が、

(i) 前記治療上有効量のグリセロリン酸塩を含有している核；および、

(i i) 前記核を覆っている腸溶性被覆剤、

を含んでいる腸溶性被覆剤を施された組成物である、請求項 9 または 10 の組成物。

【請求項 12】

前記組成物の前記核および前記腸溶性被覆剤のうちの少なくとも 1 つが、遅延放出剤をさらに含む、請求項 11 の組成物。